

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ  
カスタマーサービスセンター  
HULFT テクニカルサポートセンター

## DataSpider Servista から kintone へのテーブル書き込み処理で発生する不具合について

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

DataSpider Servista において、kintone アダプタのテーブル書き込み処理で下記の事象が発生することが判明したため、ご報告申し上げます。

kintone アダプタのテーブル書き込み処理をご利用されているお客様、および今後ご利用を検討されているお客様は、下記内容をご確認ください。

－記－

### 1. 対象製品及びバージョン

- DataSpider Servista Advanced Server Package 4.1 SP2 以降
- DataSpider Servista Basic Server Package 4.1 SP2 以降
- DataSpider Servista Select 4.1 SP2 以降
- DataSpider Servista with Software Protection 4.2 SP4 以降

### 2. 影響範囲

- kintone アダプタ  
※kintone アダプタのテーブル書き込み処理を利用している場合のみ影響します。

### 3. 発生事象

下記の条件をすべて満たした場合、追加するすべてのレコードが入力データの最終レコードの値で kintone のレコードに設定したテーブル（表）に書き込まれます。

1. kintone アダプタの[テーブル書き込み]処理を使用している
2. [キーの値と一致するレコードは更新]にチェックを入れている
3. 入力データにキーの値と一致しないレコードが複数行含まれる

- ・発生例1 3レコード追加

入力データ

列1(キー)	列2	列3
1	データ1	100
2	データ2	200
3	データ3	300

kintone レコードに設定したテーブル (表)

列 1(キー)	列 2	列 3
※空テーブル		

書き込み結果

列 1(キー)	列 2	列 3
3	データ 3	300
3	データ 3	300
3	データ 3	300

- ・発生例 2 1レコード更新、2レコード追加  
入力データ

列 1(キー)	列 2	列 3
1	データ 1	100
2	データ 2	200
3	データ 3	300

kintone レコードに設定したテーブル (表)

列 1(キー)	列 2	列 3
1	データ 1	0

書き込み結果

列 1(キー)	列 2	列 3
1	データ 1	100
3	データ 3	300
3	データ 3	300

※事象が発生する場合でもキーが一致したレコードは正常に更新されます。

#### 4. 回避策

以下のいずれかの方法で回避が可能です。

- ・ 繰り返し(データ件数)処理を使用して 1レコードずつテーブル書き込み処理を実行する
- ・ 入力データを XML ファイル書き込み処理で書き出した後、XML ファイル読み取り処理で読み取って Mapper を介さずに直接テーブル書き込み処理にデータフローを繋ぐ

#### 5. 今後の対応

今後のバージョンでの対応を検討しています。

リリース時期は現時点では未定となります。

**6. 当ご案内に関する問い合わせ先**

技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

以上

**【改訂履歴】**

2022年 2月 25日	初版作成
--------------	------